

「だれの子どもも、ころさせない」

ママの声 渋谷に響く

戦争法案「ぜったい反対」

「戦争立法せよ」といって反対するママの会。「だれの子どもも、ころさせない」を合言葉に、戦争法案に反対するママの会が、26日、東京都渋谷区の間市で、約2000人が参加した。



だれの子どももころさせない
We Mother

戦争法案に反対して街頭の人たちにアピールするママたち＝26日、東京都渋谷区

主催は「安保関連法案に反対するママの会」。「だれの子どもも、ころさせない」を合言葉に、戦争法案に反対するママの会が、26日、東京都渋谷区の間市で、約2000人が参加した。

デモでは、ピンクの風船やガーベラの花(花言葉は「希望・前進」)を身につけ、子どもを抱っこしてベビーカーを押す母親たちが戦争法案反対を訴え、手を振ったり、写真を撮ったり、飛び入り参入のママがリレー演説。人の輪が何重にも膨れ上がりまし

ついで行動を知り、初めてデモに参加。「何かしたいと思っていました。行動する親の姿を子どもたちも見ていると、戦争では何も解決しない。70年間守られてきた平和をつないでいきたい」

夫と11歳、1歳、2カ月の3人の娘と参加した田中美樹さん(35)は川崎市、看護師もフェイスペインクで知ったといふ。「絶対に子どもたちに戦争を経験させたくない。いま頑張らなければ、取り返しのつかないことになる」と話した。

↓関連画像



「戦争法案を廃案に」と声をあげる国会包囲行動の参加者たち＝26日、国会正門前

国会包囲2万5000人「参院で廃案必ず」

山下氏スピーチ
山下氏は、「こんなに多くの人が声をあげている。ここに憲法の大原則、国民の本会議での審議入りを控える26日、日中のうだるような暑さにもかかわらず、衆参の国会議員会館前から国会図書館前、国会正門前まで、人、人、人です。議事を阻むように2万5千人(主催者発表)を超える人々が、戦争法案、絶対反対」「安倍政権は今すぐ「退陣」のコールを延々と2時間半も続けました。国会正門前に設けられたスピーチ舞台では、日本共産党の山下芳生書記局長・参院議員をはじめ民主、社民の参院議員があいさつし、「参院の論戦と院外のたたかいて廃案にする」「野党がなれば」と、エールを交換しました。

精神科医の香山リカさんが、法政大学の山口二郎教授、日本弁護士連合会の福山洋子さんも連帯あいさつをしました。

主催は「総がかり行動実行委員会」です。青森市からかけつけた秋山和範さん(41)は、地元で戦争法案反対の直伝に取り組んでいます。「自分ができることをやり抜いて、法案を廃案にしたい」と語りました。

↓関連画像

7/27
あ 旗

7/27 赤坂

ママの言葉心に響く

東京・渋谷 行動しないと一生後悔

東京都心が35・8度と、今年初の猛暑日を記録した26日、首都圏ばかりでなく、全国から子どもを連れて参加したママたちが「戦争法案せつたい反対」の意思を示し、東京・渋谷駅ハチ公前を「ジャック」しました。

浴衣姿の27歳の女性「ハチ公前」は、「大きな声で叫ばれるのは苦手」と、街頭行動に参加したことはありませぬでしたが、インターネットで検索してこの行動を知り、1人で初めて参加しました。ママたちのスピーチを聞いて、「難しい言葉はなくても、気持ちに響く」と思える毎日です。日本のママも、隣国とのママも、地球の裏側でも殺されました。日本でも一番好きなところは戦争を放棄しているところでしたが、変えられようとしている。京都の水谷麻里子「最後まであきらめず、ヤロインさん(4歳) たたかいぬまましよ」と6歳の子どものママ。

ハチ公前での訴え

「東京・渋谷駅ハチ公前で行われたスピーチから」

新潟市から参加した三谷直美さん「私の望むのは、家族をろってご飯を食べ、子どもの寝顔を見て「可愛いな」と話した。8歳の子どもにも戦争になるのかと心配させるような政治はいけない」と話し、デモに向かいま

「僕も応援したかった。安倍首相は信用できない」と笑顔で話しました。

「だれの子ともて戦争を体験したおじいさんなど若男女が集って中のお母さんたちが企画した、戦争法案に反対する街頭宣伝・デモが26日、京都市で行われ、300人が参加しました。主催は「安保関連法案に反対するママの会(京都)」。

「上の子が『戦争になったら僕はどうしたいの?』と聞いてきます。子どもは、不安の中では健やかに育つことができます。平和の基盤があつてこそです。おとなの責任として廃案まで諦めず行動していきたい」と語りました。



風船やプラカードをもってアピールする参加者=26日、京都市

平和でこそ子は育つ

京都でもママ300人が行動

「だれの子ともて戦争を体験したおじいさんなど若男女が集って中のお母さんたちが企画した、戦争法案に反対する街頭宣伝・デモが26日、京都市で行われ、300人が参加しました。主催は「安保関連法案に反対するママの会(京都)」。

「上の子が『戦争になったら僕はどうしたいの?』と聞いてきます。子どもは、不安の中では健やかに育つことができます。平和の基盤があつてこそです。おとなの責任として廃案まで諦めず行動していきたい」と語りました。